

魚つり公園（魚つり施設）のあり方について

平成 20 年 11 月
尼崎市

魚つり公園（魚つり施設）のあり方について

目 次

魚つり施設の今後の方向性について（骨子）	1
1 はじめに	2
2 魚つり施設の現状	
（1）魚つり公園設置の目的	3
（2）施設概要	3
魚つり公園の概要	
施設概要	
（3）利用状況	4
（4）収支状況	4
（5）来園者の居住地	5
（6）施設の老朽化及び補修等の状況	5
3 市民アンケートの結果	
（1）アンケートの目的	6
（2）実施方法	6
（3）集計結果	6
（4）結果の概要	6
4 周辺の類似施設の状況	
（1）近隣の公営釣り公園等について	8
（2）魚つり施設周辺の魚つり可能場所について	8
5 魚つり施設の今後の方向性について	
（1）今後の方向性について	10
（2）廃止の時期について	10

魚つり施設の今後の方向性について（骨子）

現 状

- ・ 利用者の減少による毎年約 2 千万円の赤字
- ・ 上部工の補修など、増大する整備費用の必要
- ・ 4 分の 3 が市外からの来園者
- ・ ほとんどが自動車での来園であることから、近隣の類似施設の利用が可能

今後の方向性

- ・ 施設の状況や本市の財政状況等を総合的に勘案し、赤字を計上してまで魚つり施設を運営する必要性は低いと判断し、廃止とする。

廃止時期

- ・ 必要最低限の補修を行い、収支均衡を前提に指定管理者制度を導入し、当面の間（概ね 10 年間）継続運営した後、廃止する。
- ・ なお、指定管理者による収支均衡を図る方策が確保できない場合、指定管理者の応募がない場合は、その時点で廃止とする。

1 はじめに

魚つり公園は、「市民に安全で快適な魚釣り場及び憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図ること」を目的として昭和 57 年に設置された。

しかし、昭和 57 年の開設から 26 年を経て、市民のレジャーの多様化や近隣の類似施設の増加の中で、利用者は平成 4 年度の 58,887 人をピークに、平成 19 年度は 29,958 人とほぼ半減し、収支面では、単年度赤字は毎年約 2 千万円となっている。また、建設後 26 年を経た魚つり施設は、海域に立地することから、鋼材腐食が進みやすい特性を持っており、これまでも床版や安全柵等の補修を随時行ってきたが、今後も腐食が進む部分の補修など、安全対策のための整備費の増加が予想される。

こうしたことから、平成 19 年度改革改善取組（経営再建プログラム）において、その存廃について、今後検討を要する項目に計上したところである。

このような状況を踏まえ、本市の魚つり施設の今後のあり方について検討し、その結果を取りまとめた。

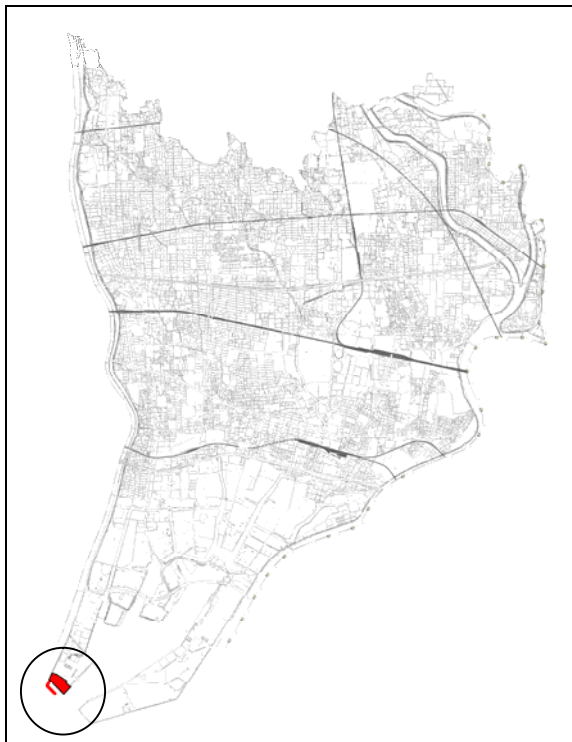


図 - 1 ニ崎市全図と魚つり公園の位置図



図 - 2 航空写真



図 - 3 魚つり施設の全景（開園当初のパフレットより）

2 魚つり施設の現状

(1) 魚つり公園設置の目的

市民に安全で快適な魚つりの場及び憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図ることを目的として設置された。(尼崎市立魚つり公園の設置及び管理に関する条例 第2条)

(2) 施設概要

魚つり公園の概要

利用料金 表 - 2 のとおり

利用時間 表 - 1 利用時間

5月・6月・11月	午前6時～午後7時
7月～10月	午前6時～午後9時
12月～翌年4月	午前7時～午後5時

休 園 日 毎週火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
その他、天候等特別の理由があるときは、臨時休園あり

駐車場料金 表 - 3 のとおり

駐車台数 乗用車約170台、二輪車約60台

交 通 阪神武庫川駅下車、タクシー利用(約4.1km)
最寄りのバス停「尼崎スポーツの森」(約2.5km)

所 在 地 尼崎市平左衛門町66

表 - 2 利用料金表

釣 り 料 金	基本 使用料	1人1回 4時間以内	大人		800円
			小人		400円
			回数券(1冊 6枚つづり)	大人	4,000円
				小人	2,000円
超 過 使 用 料	1人 4時間を越える1時間ごとに	大人	200円		
		小人	100円		
見 学 料 金	1人	大人		200円	
		小人		100円	
	団 体 利 用	30人以上 100人未満	大人	180円	
			小人	90円	
		100人以上	大人	160円	
		小人	80円		
望遠鏡及びロッカー				1回	100円

大人:16歳以上、小人:6歳以上16歳未満、6歳未満は無料

表 - 3 駐車場料金表(1日)

駐車時間	普通車	大型自動車
1時間未満	無料	無料
1時間以上 6時間未満	500円	1,000円
6時間以上 7時間未満	600円	1,200円
7時間以上 8時間未満	700円	1,400円
8時間以上	800円	1,600円

施設概要

設置年月日 昭和57年10月8日

敷地面積 10,346㎡

収容人員 釣り客300人、見学者200人

釣り桟橋 橋長200m・幅8m。中央部には幅3mの通路をとり、その両側に2.5m幅の釣りスペースを設けている。海面からの高さは満潮時2.6m、干潮時4.1mで、水深は約10m。下部工は直径80cm長さ37m厚さ1.6cmの鋼管杭を32本支持層まで斜めに打ち込んでいる。

渡り桟橋 橋長120m・幅3m。陸と海とを緑の舗道で結ぶ。AmagasakiのAをデザインしたもので、魚つり公園のシンボル。塔の高さ約25m。桟橋から水面までの高さは約10m。塔の下には直径90cm長さ40m厚さ1.9cmの鋼管杭8本が、海面下約30mの支持層まで打ち込まれている。

保安設備 5人用救命ボート、浮き輪を配置。釣台の東西端に標識灯を設置、釣台の沖約100mには灯浮標(ブ

イ)を設置。

管理棟 鉄筋コンクリート造、2階建。建築面積 463.36㎡。半円筒形の銅板葺ドーム屋根。椅子席、手洗い、売店を設置。売店では道具・仕掛け・エサを常備、エサはアミエビ・オキアミ・サシアミ・アオムシ等を用意。その他、ロッカー（16台）望遠鏡（1台）を設置している。

（参考写真：平成 20 年 3 月撮影）



渡り桟橋



釣り桟橋



管理棟



駐車場

（ 3 ） 利用状況

平成 19 年度利用状況

釣客 大人 19,081 人、小人 6,009 人 計 25,090 人（前年比 0.99）

見物客 大人 4,184 人、小人 684 人 計 4,868 人（前年比 1.02） 釣客との合計 29,958 人（前年比 1.00）

駐車場 23,459 台（前年比 0.99）

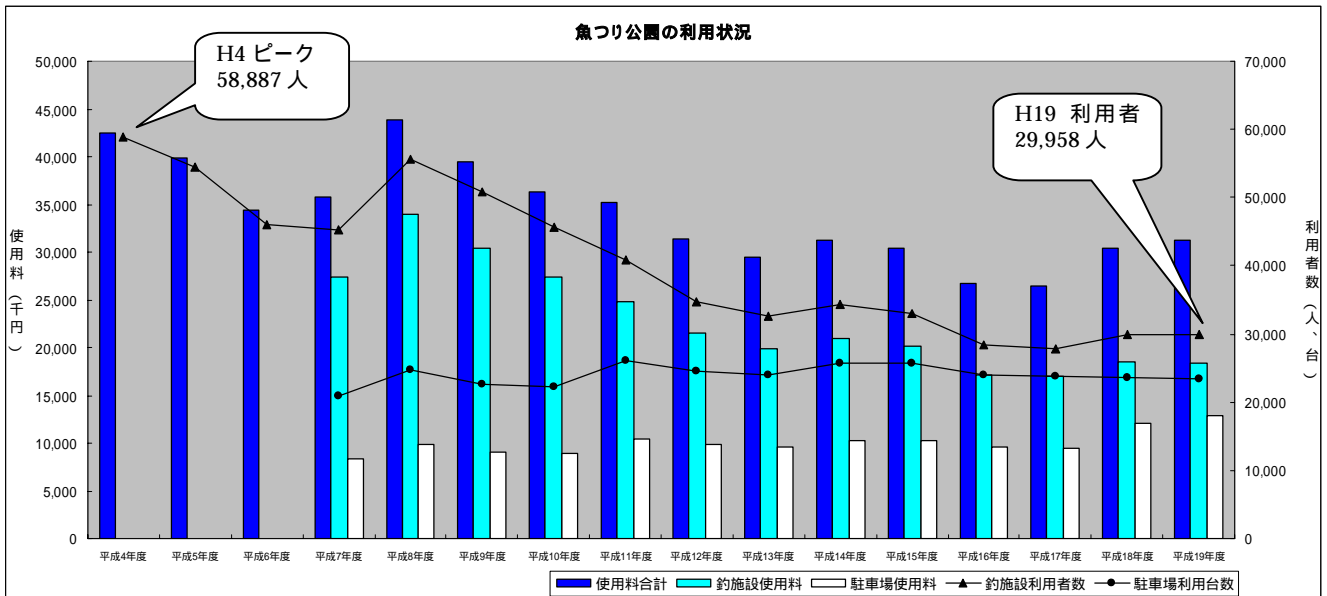


図 - 4 利用状況の経年変化

（ 4 ） 収支状況

表 - 4 平成19年度収支状況

収入計	32,360,705	
魚つり施設	18,286,000	
ロッカー等	52,500	
駐車場	12,832,000	
その他	1,190,205	行政財産使用料等
支出計	48,472,210	
需用費	4,119,249	光熱水費等
役務費	380,825	保険料等
委託料	43,972,136	機械保守点検含む
収支差	-16,111,505	

施設の修繕等は含まない

表 - 5 近年の収支率

	収入	支出	収支差	収支率
平成14年度	32,189,361	51,819,000	-19,629,639	62%
平成15年度	31,248,312	53,969,415	-22,721,103	58%
平成16年度	27,918,014	50,216,127	-22,298,113	56%
平成17年度	27,592,524	48,900,348	-21,307,824	56%
平成18年度	31,662,236	49,264,117	-17,601,881	64%
平成19年度	32,360,705	48,472,210	-16,111,505	67%

施設の修繕等は含まない

(5) 来園者の居住地

平成 15 年 8 月～10 月に行った利用者アンケート結果では、尼崎市内からの利用者は約 4 分の 1、尼崎市を含む兵庫県内からの利用者は約半数、他は大阪市を含む大阪府からの利用者が多かった。

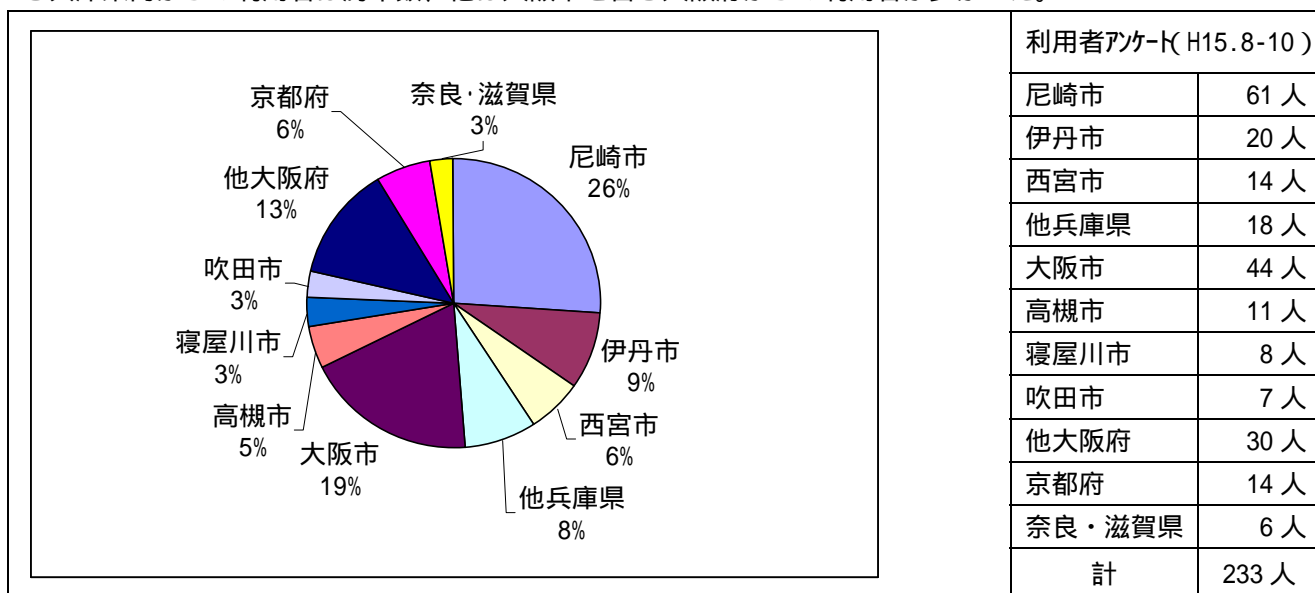


図 - 5 来園者の居住地

(6) 施設の老朽化及び補修等の状況

魚つり施設は、昭和 57 年の開設から 26 年を経ており、老朽化が目立っている。これまで、電気防食工事や塗装工事、エキスパンドメタル(床板)取替工事などの維持管理を適宜行い、運営を行ってきたが、全面的な塗装工事の施工から約 20 年が経過し、特に上部工において、塩害による腐食が進んでいる。

現状と評価は次頁のとおり。

(参考写真：平成 20 年 3 月撮影)



鋼管杭(連絡橋)



上部工腐食状況



手すり腐食状況



エキスパンドメタル腐食状況

表 - 6 魚つり施設の現状

施設名称	現状及び評価	参考（過去の修繕等）
下部工（鋼管杭）	直径 80cm 長さ 37m 厚さ 1.6cm 計 32 本（釣り棧橋）直径 90cm 長さ 40m 厚さ 1.9cm 計 8 本（渡り棧橋）。杭の水中部分は、H9 施工の電気防食効果があと 10 年程度有効。ただし、流木等による損傷の有無確認のため調査（外観・厚み等）が必要である。	電気防食工事（H9）37,380 千円 効果 20 年
上部工（桁、床、欄干等）	塩害による腐食が進む。欄干等の手の届く範囲は修繕及び直営による塗装を常時行っている。腐食が進む部分の補修が必要である。	釣り棧橋塗装工事（H 元）63,238 千円 連絡橋塗装工事（H2）27,204 千円 竿置台・防護柵取替（随時） 床板（イキルノドメル）取替（H5～）964 枚

3 市民アンケートの結果（魚つり施設に関することのみ抜粋）

（1）アンケートの目的

丸島埋立地の土地利用のあり方や、施設の老朽化や利用者の減少が進む魚つり施設のあり方について、市民意向を把握するため、アンケートを実施した。

（2）実施方法

本市 HP 上及び窓口等（各地域振興センター等 20 箇所）にアンケート用紙を設置・配布することによりアンケートを行った。また、同様のアンケートをネットモニターに対して行った。広報の方法は、市報に掲載（12 月号）及び HP のトップページ新着情報に記載した。

（3）集計結果

- ・ HP 上でのアンケート
実施期間：平成 19 年 12 月 29 日～平成 20 年 1 月 31 日、回答数 8 件
- ・ 窓口等へのアンケート用紙設置・配布
実施機関：平成 19 年 12 月 27 日～平成 20 年 1 月 31 日、配布数 590 枚中、回答数 190 件（回収率 32.2%）
- ・ ネットモニターアンケート
実施期間：平成 20 年 1 月 15 日～平成 20 年 1 月 25 日、回答数 135 人中、116 人（回答率 85.9%）

（4）結果の概要

- ・ 魚つり施設を利用したことがある市民は約 2 割程度である（ネットモニターの結果より推測）。
- ・ 魚つり施設を利用したことがある人では、施設存続希望が 7 割を超えるが、利用したことのない人では、存続希望約 3 割、廃止約 3 割となり、意見が割れる結果となっている。
- ・ 丸島地区や魚つり施設を知らない人も多く、自由意見にも多くあるように、積極的な PR 等が必要である。

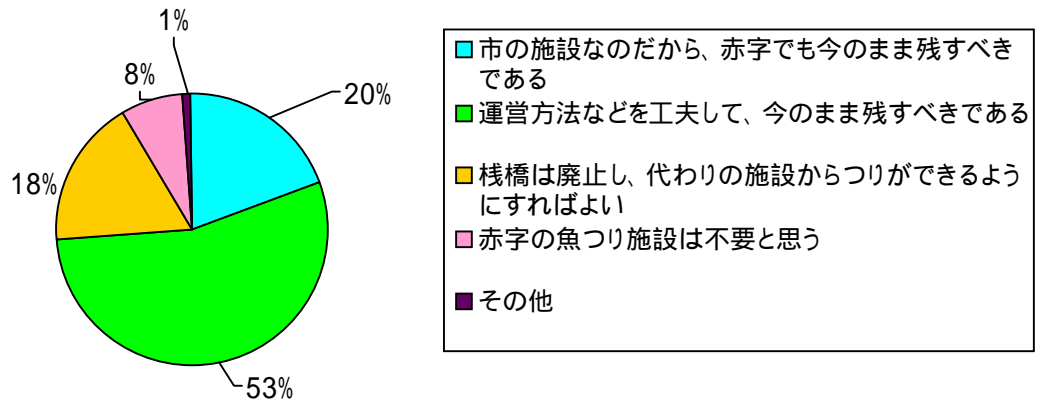


図 - 6 魚つり施設を利用したことがある方（計 130 人）の魚つり施設の今後について

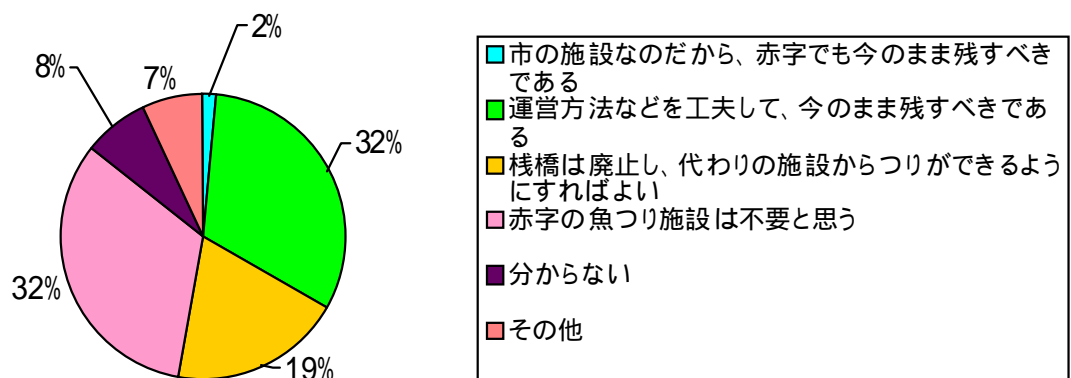


図 - 7 魚つり施設を利用したことがない方（計 184 人）の魚つり施設の今後について

表 - 7 魚つり施設のあり方に関する自由意見

意見の概要	件数
もっと利用を促すPR活動が必要である	19件
民間に経営を委託(民営化)すればよい	6件
魚の住む場所をもっと作ってほしい	3件
魚つり場を維持するより、魚がたくさんいる海を取り戻すほうが大事だと思う	2件
市外利用者との(料金)格差をつける案もある	2件
利用時間を変更し、よく釣れる時間に開園するとよい	2件
市外の方にも尼崎の良いところを見てもらえる機会になるので、利用者に市民が少ないからという理由での閉鎖はどうかと思う	2件
魚つり施設はもっと安くして人をたくさん呼ぶ込むことが肝心である	2件
釣り場を利用者の自主管理に任せるとはどうか	1件
尼崎にはもともと文化施設が少ないのだし、町の魅力がなくなれば、ますます若い世代が他市へ流出してしまう	1件
これから団塊の世代が退職し、釣り人口も増えるのではないか	1件
釣堀公園にするとよい	1件
海底掃除が必要である	1件
施設を改修し、最新の設備を作ると利用客はもっと増えると思う	1件

4 周辺の類似施設の状況

(1) 近隣の公営釣り公園等について

近隣の公営釣り公園等の状況については、以下のとおり。本市魚つり公園周辺には多くの類似施設が存在する。

表 - 8 近隣の公営釣り公園等

都市名	西宮市	神戸市		芦屋市	大阪市	尼崎市	
名称	鳴尾浜臨海公園 海づり広場	須磨海づり公園	平磯海づり公園	南芦屋浜	南港魚つり園	魚つり公園	
設置年月	平成 4 年 4 月	昭和 51 年 4 月	昭和 59 年 9 月		昭和 54 年	昭和 57 年 10 月	
施設構造	築堤式（護岸）	栈橋式	築堤式（護岸）	築堤式（護岸）	築堤式（護岸）	栈橋式	
収容人員	200 人	釣客 550 人 見学 760 人	釣客 700 人 見学 1,000 人	-	-	釣客 300 人 見学 200 人	
利用料金	釣客	大人 300 円 小人 150 円	大人 1,200 円 小人 700 円	大人 1,000 円 小人 600 円	無料（駐車場 100 円/30分）	無料 （駐車場 800 円）	大人 800 円 小人 400 円
	見学	大人 100 円 小人 100 円	大人 200 円 小人 100 円	大人 200 円 小人 100 円	無料	無料	大人 200 円 小人 100 円
利用者数	釣客 22,799 人 見学 9,978 人	釣客 55,088 人 見学 17,126 人	釣客 69,573 人 見学 15,678 人	-	-	釣客 25,090 人 見学 4,868 人	

平成 16 年度の数値（尼崎市のみ平成 19 年度実績）

・その他

尼崎西宮芦屋港西宮防波堤（通称：武庫川一文字）

概要 計画延長 5,200m 整備済延長 4,433m（H18 現在）

外向きの高さは海面から 4～5m

渡船店 武庫川下流の尼崎側及び西宮側から渡船が出ている



図 - 8 魚つり公園周辺の類似施設位置図

(2) 魚つり施設周辺の魚つり可能場所について

魚つり施設のある丸島地区の護岸形状は一部を除きテトラポットであるため、釣り場にするにはテトラ上にデッキ等を張り出すなどして整備する必要があるが、整備費用が莫大であり、また後の維持管理が必要であることから実施は困難である。また、直立護岸であるフェニックス積出基地は供用中であり、釣り場としての使用のめどは立たないため、丸島地区での魚つり施設の整備は難しい。

一方、東海岸町埋立地は、港湾計画に基づき、現在、埋立整備が進んでおり、平成 20 年代後半を目標に、先端に緑地等が整備されることになっている。この護岸は直立護岸になっているため、今後の調整により魚つり岸壁として利用できる可能性がある。



図 - 9 周辺の魚つり可能場所



図 - 10 尼崎西宮芦屋港湾計画図(兵庫県)

(参考写真：平成 20 年 3 月撮影)



魚つり公園周辺の護岸状況(ナホット)



フェニックス積出基地



東海岸町先端の護岸(遠景)

5 魚つり施設の今後の方向性について

これまで示してきたように、魚つり施設の運営現状や利用状況、施設老朽化の状態、アンケート調査の結果、周辺の状態等を総合的に勘案した結果、魚つり施設の今後の方向性について、次のとおり取り扱う。

(1) 今後の方向性について

魚つり公園は、「市民に安全で快適な魚釣り場及び憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図ること」を目的として昭和 57 年に設置されたが、市民のレジャーの多様化や近隣の類似施設の増加の中で、利用者は平成 4 年度の 58,887 人をピークに、平成 19 年度は 29,958 人とほぼ半減し、収支面では、単年度赤字が毎年約 2 千万円となっている。また、建設後 26 年を経た魚つり施設は、海域に立地することから鋼材腐食が進みやすい特性を持っており、これまでも床版や安全柵等の補修を随時行ってきたが、特に上部工において塩害による腐食が進んでおり、今後も腐食が進む部分の補修など、安全対策のための整備費の増加が予想される。

更に、市民利用施設として設置された本市の魚つり施設は、利用者全体の約 4 分の 3 が市外からの来園者となっており、また、自動車での来園がほとんどである利用者にとっては、近隣の類似施設を容易に利用することも可能である。

本市の魚つり施設は、広域的施設として市内外からの利用はあるものの、設置当初の目的である市民利用施設としての位置付けは薄れていると考えられ、これら魚つり施設の状況や本市の財政状況等を総合的に勘案し、赤字を計上してまで魚つり施設を運営する必要性は低いと判断し、今後の方向性としては、「廃止」とする。

(2) 廃止の時期について

魚つり施設については、アンケート結果からも運営の努力をするべきとの意見が多くあったことから、一定期間運営を行った後に廃止することが望ましいと思われる。

また、上部工は塩害による腐食が進んでいるものの、棧橋を支える鋼管杭については、過年度実施の電気防食により 10 年程度は利用が可能であり、一方では、平成 20 年代後半をめぐりに東海岸町埋立地の先端緑地が整備されるため、今後の調整により護岸を魚つり岸壁として利用できる可能性がある。

そのため、魚つり施設の廃止時期については、現状施設の必要最低限の補修を行い、収支均衡を前提に、指定管理者制度を導入し、当面の間（概ね 10 年間）継続運営とした後、廃止する。また、開園時間・開園時期の見直し（冬期閉園など）利用料金の見直しなどの経費節減方策を検討する。

なお、指定管理者による収支均衡を図る方策が確保できない場合、指定管理者の応募がない場合は、その時点で廃止とする。